

新技術・製品情報

各住戸のデッドスペースを利用した給水装置「貯めてるゾー」 ～ 災害断水時に備えて飲料用水を備蓄 ～

■災害時のライフライン停止は避けられない

首都直下地震で想定されている断水人口は約1400万人、断水率は31%にもなり、発災3日後までは被害状況の調査や制水弁の閉止等にあてられ、実質的な復旧作業は4日目以降になるとみられている。東日本大震災での断水戸数は、岩手県、宮城県、福島県を中心とした187市町村で160万戸以上にのぼった。

■新鮮な飲料水を各住戸のデッドスペースに備蓄

飲料水の備蓄方法としては、ペットボトルや、集合住宅であれば貯水槽による備蓄などがある。しかし、ペットボトルによる備蓄はスペースの確保や入れ替え作業の手間があり、また、近年、給水方式が衛生性の観点から直結式に変わってきているため貯水槽は減少傾向にある。

貯水機能付防災ヘッダー「貯めてるゾー」は、各住戸の給水管路システムに組み込むことで、日常の水道使用により新鮮な飲料水をデッドスペースに備蓄することを可能とするメンテナンスフリーの装置で、リフォームの際に設置することができる。

■特徴

①(公社)日本水道協会 JWWA 認証登録品

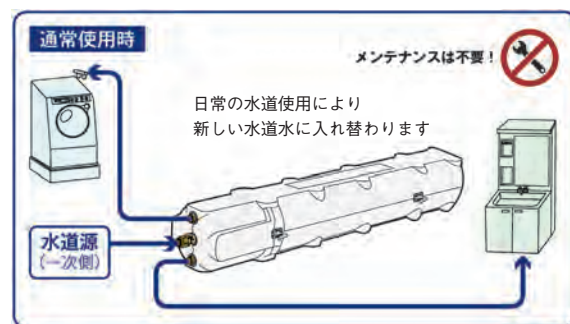
「貯めてるゾー」は JWWA 認証登録品(認証登録番号 Z-329)であり、給水製品に求められる性能を満足している。

②水道使用により新しい水道水に入れ替わる

各種水栓(トイレ、バス、洗濯機、洗面、台所)を使用するたびに、貯水部の複数箇所から水道水が取り出されるため、貯水は新しい水道水に入れ替わり、面倒な水の入れ替えや特別なメンテナンスが必要ない。

③選べるタイプ

家族4人×3日分の備蓄が可能な36ℓタイプと、コンパクトで価格も経済的な18ℓタイプのふたつの容量をラインアップ。家族構成やスペースに合わせて選択できる。



- 天井裏にスペースがある
- より簡単に水を使いたい

天井設置用

重力を利用して普段どおりに水を取り出し

- 36ℓ** 家族4人×3日分の備蓄が可能
- 安心の大容量なのに薄型設計
- 天井設置242mm、床下設置203mm



- 18ℓ** コンパクト&リーズナブル
- キッチンと洗面等2ヶ所以上に設置したい時に
- 単身者や2人家族に



GOOD DESIGN AWARD 2011

- 天井裏のスペース確保が難しい
- キッチン・浴槽のリフォームついでに

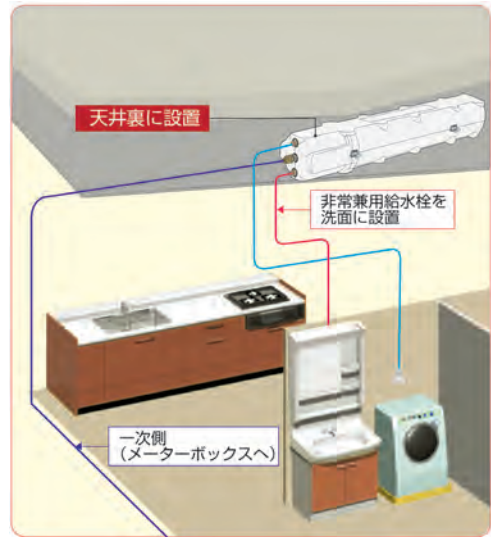
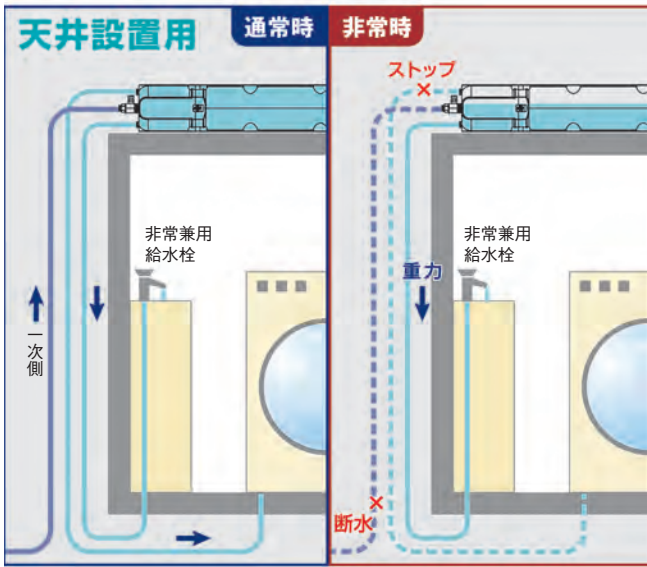
床下設置用

フットポンプで加圧して水を取り出し



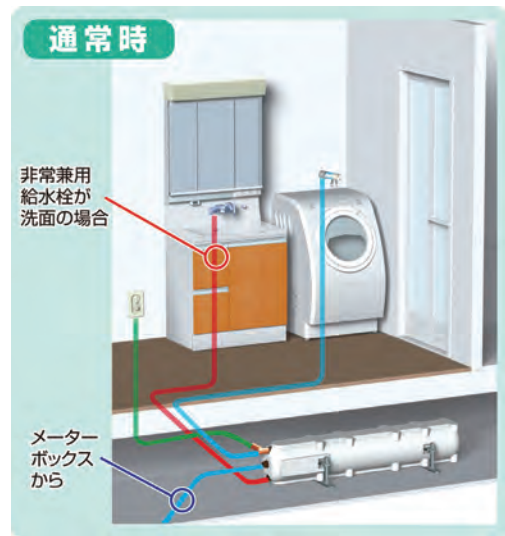
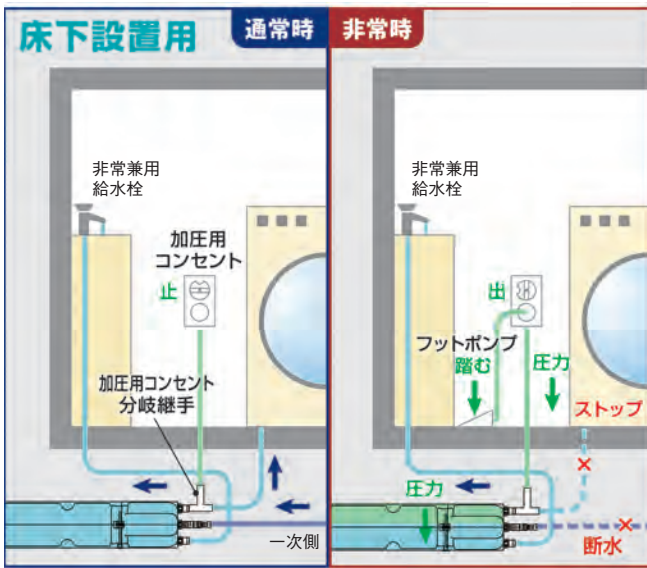
■断水（非常）時には

天井設置用…非常用に設定した水栓を普段通り開くだけで簡単に水を取り出すことができる。給水再開時にも特別な操作は必要ない。



〈配管例〉

床下設置用…加圧用コンセントにフットポンプおよびホースを接続・加圧し、非常用に設定された水栓を開くことで水を取り出すことができる。給水再開時にも特別な操作は必要ない。



〈配管例〉

■設置例

〈マンション 天井設置例 18ℓ〉

〈マンション 天井設置例 36ℓ〉

〈戸建住宅 床下設置例 18ℓ〉



そのときが来る前の備えが大切。製品詳細については弊社までお問い合わせください。